



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(226)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円

道標



高齢者が支える教会経済の実態顕著

教区評議会でも各小教区が苦しい現状を報告

「教区財政を知り、考えよう」をテーマに十一月三日(水)にザビエル教会と教区本部で開かれた教区評議会では、各小教区の代表者たち八十人が財政という生々しい議題に真剣に向き合い、互いに小教区の現状を分かち合い、その後の分団会で小教区の、そして教区の財政と宣教に対する教会の理想の姿を探った。

午前十時から始められた教区評議会の冒頭、挨拶した郡山司教は「赤字解消は大切なこと。しかしどんな教会であるべきなのかというビジョンが大切。どのようにならなければならぬかを神の計らいの中でこの窮地を乗り越える方法を考えて欲しい」と話した。そして各小

教区から、教区評議会まで小教区で話し合われたことと小教区の財政に関する現状が報告された。この報告で分かったことは、どの小教区でもミサ等の共同体活動に加わる信徒数が減っていること、そして活動に加わっている多くが高齢者で、その高齢者が支払う教会維持費で小教区



が支えられている現状が浮き彫りになった。そして

どの小教区も将来に不安を感じているという実態がはっきりした。各小教区からの報告がされた後、郡山司教と教区会計担当の中野神父が出席者からの質問に答えた。教区の今後のビジョンに対する質問に答えた司教は、現時点で小教区の統廃合や共同司牧を考えて

ないことを伝えた。その上で「たとえ小さくても教会は『宣教基地』。地域に向かつて福音を宣べ伝える使命を持つている。司祭ももちろんだが、信徒が最前線で働くという意識をもって頑張る欲しい。支出を減らすのも一つの赤字減少のための手段。それよりも宣教司牧費を僅かしか予算に組めない、司祭の生活を支えられない現状を変えられようと考えて欲しい」と述べた。

また教区財政の赤字減少のための施策についての質問に答えた中野神父は、郡山司教が教区長に就任して以来、かつての教区財務委員会に代わり「経済問題評議会」が設置され、司教、司祭、信徒の代表で教区財政を考えるようになったことを報告。また今回の教区評議会でも出された意見も経済問題評議会でも検討していくことを伝えた。

その後、出席者たちは十のグループに分かれ、あらためて小教区の現状報告や教区のあるべき姿についての話し合いを行った。グループ毎に話し合われた内容は、その後の全体会で発表されたが、これらの意見は執行部でまとめられ、司祭評議会や経済問題評議会でも話し合われることになっている。

三巡回教会が浸水被害に

10・20奄美集中豪雨で

十月二十日(水)から奄美大島を襲った集中豪雨は被害総額は百億円超という凄まじいものでカトリック教会関係でも、三つの巡回

教会(山間、西仲勝、知名瀬)が浸水被害に遭った。特に被害が大きかったのは住居地区にある山間教会(古仁屋小教区)で、床上一メートルにまで浸水し、その復旧には甚大な費用と時間がかかるとみられている。

この現状を知った郡山司教は、教区内で義援金を募り、教区のホームページでも応援を呼びかけた。また司教は、十一月七日(日)と八日(月)奄美大島に被害状況を確認に駆けつけ、地元司祭と信徒を励ました。十一月末までを目処に集められた義援金は、奄美地区に送られ、被害に遭った教会や地区のために使われることとなっている。

町村道の寸断、電力・水・電話等のインフラ、家屋の全壊半壊、床上・床下浸水、土石流による災害等、その他農林水産業、観光事業に及んでいます。被害総額は百二十一億円。復旧には、県警、自衛隊、その他のボランティアア団体が取り組んでいます。

新風

「リレーつばめ」とは周知の通り、鹿兒島と新八代間を九州新幹線が、新八代と博多間を在来線が担っていた特急のことです。しかし、このリレーつばめの存在はあと四か月に限りです。来年三月十二日には九州新幹線がフル規格になり「新幹線つばめ」になるからです。

JR九州は、乗客を一つの電車が連携して運ぶことをリレーと命名しました。リレーという競争もそうです。複数人のランナーがたすきを連携してゴールまで運ぶ競技です。ところで、運ばれる乗客、運ばれるたすきを私たちの信仰の世界で考えてみれば、たすきは信

リレーつばめと信仰の伝達

仰ということになります。親から子へ、子から孫へと信仰は伝達されます。しかし、この信仰は遺伝子のように自動的に伝達されません。自動的に伝達されるのは原罪です。従って信仰には個人の受容、つまり個人

の意思決定が要求されます。ここに伝達の困難さがあります。親は子供にの幸せを願って幼児洗礼を授けますが、自分の思うようには信仰は伝わりません。そこで親は嘆息します。どうして自分の子供は教会へ行かないのかと。しかし、そう考える親御

さんは勘違いをしているのです。「信仰は自己決定に基づくものであって、自然的な遺伝子ではない」ということです。繰り返しますが、リレーつばめは新幹線が在来線に乗客を委ねています。新幹線は速く、在来線は精いっぱい走りますが遅いのです。それは敷かれてあるレールの規格が違うからです。この違いを認識しながら、乗客を相手に委ねるのです。

幼子イエスをお迎えする季節に入りました。父なる神はわたしたちに御子を新たに委ねます。新たに、というのは毎年イエス様を人間として生まれさせるといふことです。御父は在来線のように鈍い私たちに信頼して御子を委ねるのです。(H・N)

良書紹介

「カトリック教会の諸宗教対話の手引き 実践Q&A」

日本では家族全員がカトリック信者である割合は非常に少ないのが現実です。従って、社会や家庭の中で他宗教の人のお付き合い



が欠かせません。「お彼岸やお盆のときはどうしたら良いの?」「他の宗教の冠婚葬祭に出席するときは?」「先祖の墓と供養はどうすればいいの?」などの質問に適切に答えているのがこの本です。日本の司教団が確信を持って発行しているこの本の指示に従っていただければ私たちの信仰は安心です。各家庭に是非一冊お備えください。お求めはザビエル書店で! 出版 カトリック中央協議会 協賛会 定 価(本体八百六十円+税) 英語版もあります。

報告

浦上教会 平 三國 十月二十日、奄美大島は災害救助法が適用されるほどの観測史上最多の雨量を

1 カタリナ永俊尼の生涯 | 信仰を信念に高めた生き方

カタリナ永俊尼の「カタリナ」という名前は、キリシタン名、つまり洗礼名です。

カタリナは英語でキャサリンといいます。ラテン系のことは、カタリナと呼ばれています。

ラテン語の原意ギリシャ語において、カタリナは「純粋」、英語でいう「pure」を意味しているそうです。カタリナの名に違(たが)うことなく、カタリナ永俊尼は、七十五年の「純粋な信仰」の生涯を貫き通したといえましょう。

キリシタン大名小西一族の出身であったカタリナは、一族の熱心なキリシタン信仰の雰囲気にも包まれました。少女時代を過ごした。カタリナは、キリシタン信仰によって育まれていったのです。

それに加え、彼女自身の強い性格(気質)が、さして、キリシタン信仰は、さらには揺るがぬ信念へと昇華されていったのです。

長じて島津一族の島津清に嫁いだカタリナは、島津一族とその家臣団に、キリシタン信仰の種を蒔いていきました。やがて、忠清との間に生んだ娘・桂安が十八代薩摩藩主・家久の夫人となり、継嗣光久(十九代藩主)を生んだことによつて、カタリナの身分は揺るがぬものとなりました。

孫娘のお鶴、お満津などの身内はもちろんのこと、薩摩藩内の多くの家臣が、キリシタンになつていったことが知られます。

また、カタリナはキリシタンとして薩摩の人々に影響を与えただけでなく、「藩主家久の義母」「嫡孫光久の実祖母」として、関ヶ原の合戦で豊臣方に加担し、徳川幕府から快く思われていなかった薩摩島津家が立ち行くよう、幕府の心証をよくするように、尽力してもいたのです。

カタリナは薩摩藩内にあつて政治的にも隠然とした勢力を有し、藩主家久をはじめ家臣たちから多大な尊敬をかちえていたともいわれています。鎌倉時代に

ナの研究の第一人者・茂野幽考氏は、「日南切支丹史」「切支丹風土記」「薩藩切支丹資料」において、述べられています。

行長の子供としては、男は、長男・兵庫頭(十二歳にして斬首される)、次男・秀貞(側室の子。僧侶になる)、末子・弥左衛門(黒田家家臣となる)。女は、マリア(宗義智正室。後に離縁。その子は小西マンショ神父、養女おたあジュリアが挙げられています。が、この他に、名前不詳の娘が一人挙げられているのです。この女性がカタリナだったのかもしれない。また、天草の乱(一六三七(八年)の首領・天草四郎時貞は、行長の旧臣・益田

ナ研究の第一人者・茂野幽考氏は、「日南切支丹史」「切支丹風土記」「薩藩切支丹資料」において、述べられています。

行長の子供としては、男は、長男・兵庫頭(十二歳にして斬首される)、次男・秀貞(側室の子。僧侶になる)、末子・弥左衛門(黒田家家臣となる)。女は、マリア(宗義智正室。後に離縁。その子は小西マンショ神父、養女おたあジュリアが挙げられています。が、この他に、名前不詳の娘が一人挙げられているのです。この女性がカタリナだったのかもしれない。また、天草の乱(一六三七(八年)の首領・天草四郎時貞は、行長の旧臣・益田

カタリナ永俊尼の信仰

種子島教会主任司祭

坂本 進

(中・①)

+KABAYAN SEKSIYON+
"MGA TANONG AT MGA SAGOT"
T'Ang lahat ba ay may pananampalataya?
S'Ang lahat ay may likas na pananampalataya, paniniwala sa isang bagay o isang tao. Ang pagsampalataya sa Diyos ay handog ng Diyos na ibinibigay Niya sa bawat isa sa iba't ibang pamamaraan. Nais ng Diyos na "ang lahat ng tao ay maligtas at makaalam ng katotohanan." (1Tm 2:4). Ngunit ang karanasan ay nagpapakita na maaring magamit natin sa maling paraan an gating kalayaan at tanggihan ang alay ng Diyos, o kaya'y lumayo tayo sa Diyos sa pamamagitan ng kasalanan.
T'Anu-ano ang mga hamong hinaharap ng ating buhay pa nananampalataya kay Kristo?
S'Ang ating buhay pananampalataya kay Kristo ay hinahamon ng:
 * ating sariling kapalaluan at makasalanang pagka-maka sarili;
 * ang karukhaan, pagdurusa, at kawalang-katarungan ng marami na pinatingkad ng pagwawalang-bahala at masang halimbawa ng iba;
 * kamangmangan sa relihiyon, maling paglalahad ng Ebanghelyo, at mga kaugaliang may isahang pagkiling; at
 * mga paganong aral-pananampalataya at maluhong pananaw at pagpapahalagang laganap sa ating kapaligiran.
T'Paano nahahadlangan ang pananampalataya ng mga kaugaliang may isahang pagkiling?
S'Ang labis na pagbibigay-diin sa isang dimension lamang ng Pananampalataya ay nagbubunsod sa maling paglalahad ng dimensyong ito at pagsasawalang-bahala sa iba.
Kung ang Pananampalataya ay mauwi lamang sa:
 • doktrina, ang magiging karaniwang resulta nito ay isang dogmatismo na walang damdamin at kulang sa panalangin na walang kaugnayan sa tunay na buhay.
 • maka-aktibistang pakikipaglaban para sa katarungan, ang pananampalataya ay nagiging isang ideolohikal at di-makatarungang paghahangad ng mga pansariling layunin
 • mga pagdarasal, mga debosyon, at pagsisimba, ang pananampalataya'y nagiging kapalit para sa tunay na maka-Kristiyanong pagkakawangawa.
Sa mga katanungan na ito, marami pa rin mga Katoliko ang hindi pa lubos na nauunawaan ang sariling pananampalataya, mayroon pa rin mga pagdududa at paghahanap ng katotohanan. Kaya sa mga katanungan na ito, muli natin hihingin ang tulong ng Espiritu Santo para tayo gabayan sa paghanap ng katotohanan.

において、豊臣方の武将として勇猛果敢な合戦ぶりを示した事によつて知られています。キリシタン武将であった掃部は、大坂の陣の後、台湾に渡つて、キリシタン共同体を作り上げたとも伝えられています。が、はつきりしていません。

徳川幕府は、掃部の勇猛果敢ぶりを恐れ、必死になつて島原の乱の前まで、掃部の行方を捜し続けていたと言われています。

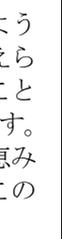
カタリナは藩主家久の義母、継嗣光久の実祖母になつてから、豊臣方の残党を匿っていました。特に掃部の子である小三郎を長期に渡つて匿っていました。これは、掃部と肉親関係にあつたからではないか、とも伝えられています。(続く)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)



に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

● 2010・4・16 ~ 2010・9・12 (鹿児島 Y・T 151 日間) = 今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

~和善の案内~ 〈何時からでもどうぞ〉
 ■○月 18:30 ■○水 14:00 (第2,4 於始良)
 ■○水 WAZEN ころろ相談室 (第1・3: 要予約 = 10:10 から = 45 分間) ■○金 10:00 <いづれも本部3階で>
 ◆ 12月17日 (金) 17:30 「和善のミサ」 (和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

に肩をそつと抱かれたかのようにも、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。

主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい

ドイツ・イタリアでの歌の旅を終えて

谷山教会の聖アルフオンソ合唱団

聖アルフオンソ合唱団 (谷山教会、総監督J・ムイベルガ神父、松澤宣生团长) は、九月十六、二十七日までドイツとイタリアの四教会でモーツァルトの戴冠ミサ曲などを歌いました。二〇〇四年に結成された同合唱団が海外で歌うのは初めてのことで、出発に先立ち、ザビエル教会でプレコンサートを行いました。市内各小教区の信徒の

方々、また団員の友人や音楽愛好家の一般市民の方々が教会は満席となり、「これならドイツへ行つて歌つても恥ずかしくないよ」と温かい応援を頂きました。一行三十一人(三人は応援)は天正遣欧少年使節(一五八二〜一五九〇年)がローマで教皇様に謁見した帰路、宿泊したゆかりの地であるイタリアはマンツバのサン・ベネデット・ポ



ランズベルクの聖十字架教会

大聖堂(少年使節の滞在を記念して刻まれた石碑や古文書館には伊東マンショが書き送った美しい筆字の札状が大切に展示されている)や日本殉教者(一七五四年にヨーロッパで初めて描かれたイエズス会司祭・パウロ三木、ヨハネ五島、ヤコブス喜齋)の天井画のあるドイツ南部ランズベルクの聖十字架教会などでモーツァルトの戴冠ミサ曲等を披露しました。

指揮は安楽晃さんが務め、音楽監督・中村かし子さん、オルガニスト・栗山直子さん、ソリスト三人(三浦かおりさん、手塚洋子さん、川野貴之さん、美代開太さん)と団員らが、二教会ではミサ中に、二教会ではコンサート形式で歌いました。ムイベルガ神父様のふるさと教会ではオーケストラと五、六人の音楽家の応援もあり、素晴らしい交流コンサートになりました。

ランツフォートのバロックの聖ドミニコ教会は天井も壁も美しいフレスコ画で覆われています。パイプオル

みことばシリーズ⑦

求めなさい、そうすれば見つかる

終身助祭 久保俊弘

三十二歳の時、古仁屋高校から穎娃高校に転勤しました。そこでは「君は軟式庭球が上手いようだから、うちの庭球部をもっと強くするように」と言われ、放課後は薄暗くなるまでテニス指導をしていました。その結果、県大会で二位という成績を収めるに至りました。

子どもも二つ違いで生まれ三人になり、その頃住んでいた町営住宅も手狭になってきた頃です。住んでいたのは枕崎と指宿の中ほどでしたので、ミサは交互に両方の教会に行っていました。

でも私がテニスで県大会や練習試合に出かけるときなど、家族はミサに行かないでいました。そんな居住地です。長男は仕方なく仏教系の幼稚園に行かせていました。でもこれは駄目だと思い、指宿に引っ越そうと考え、家を探しましたがなかなか見つかりません。そんなとき妻が「コルベ神父さまに取り次ぎを頼むと良い」と言うので、三カ月の間祈り続けました。

折りが聞き入れられるためには、その願いが「神もよいと思う」ことであることです。次に真剣に、小さい声でも叫びとして伝えることです。すべてのものには時がありますから、すぐになえられるものと忍耐がいるものがあります。一人では聞き入れられないときには、他の人と一緒に祈るとよいと思います。それは「あなたたちが二人、三人で祈る時には、私もそこにいます」とおっしゃっているからです。

文

芸

俳句

純心学園 山頭 信子
南天の実はかたむきぬルルどかな
出水市 沖 弘子
聖堂に清閑ありて菊生ける
純心学園 川上 和
赤だすきおはら祭りや秋の声
鹿兒島市 徳永ノブ子
祭壇につらなり活かる鳥瓜
谷山教会 井之脇ノリ子
胃切除のダンピング後の清しさよ
手術後の眠れぬ夜のネオンかな
愛光園 春山マリ子
何も無いそこには秋の幸せが
鹿兒島市 田平新太郎
健やかな初日の光に映ゆる峰

短歌

霧島市 政 ノブ子
復興を願ひ募金や石路の花
大笠利 稲 牛憲
亡き妻の時かけてためしへソクリを
一人巡礼の旅に使はん
鹿兒島市 田平新太郎
水鳥の飛び交ふ眼清々しい篋のほとり
群れあふる声も
純心学園 川上 和
ガリラヤの小高い丘に天の幸飢えし
羊ら心満たせり
鹿兒島市 前田 儀子
ゆるやかに驚のよぎれる窓の辺に聞き
きみるヴェルリオーズの幻想交響曲
愛光園 春山マリ子
人類の愛に目覚めて思うのは冷たい
自分の他人への目

詩

鹿兒島市 田平新太郎

筒形の紙のコップは馴染よい
オランダ仕込みの言葉ゆえ
広く使われて日本語と
思いこませる 紙コップ
取っ手のついた金属の
カップと言えはイギリスから
渡って届いた器なり
コーヒーカップは 味の里
グラスと言えは
グラスで出来た コップなり
グラスで出来た コップなり
注ぐ洋酒に満たされて
足つきグラスは歩きだす
折りの心が頭つき清き
凛々しき水の香り満ちて
朝に夕べに主を崇めん

「私の研究」

奄美宣教の始期

谷山教会 東 健一郎

一八九一(明治二十四)年十二月三十一日、フェリエ神父が来島された時のカトリック熱はよく知られているが、そのほかに奄美宣教の始まりの頃には次のような事実もあるようだ。當時を記した書物から見つけたのでご紹介したい。

①一八七九(明治十二年)七月「耶蘇教来り。浦上、大熊、伊津部二始ム」これが奄美宣教の始まりであると思われる。また三村の住人にはフェリエ神父が来島前後にカトリックに積極的に関わる人々がおら

②一八八七(明治二十)年十月「フランス人宣教師 [Frain] Jean, Faurie 来たリ、植物を採集す。彼は他の地にては昆虫を採集せしことあるも、奄美大島にて採集せしや否や不明なり」フェリエ神父は主に東京、横浜、新潟、青森、北海道で宣教された。奄美には沖縄の帰途来島されて採集、宣教もあつたと思われる。パリ外国宣教会で著名な採集家はフェリエ神父とフェーリー神父であるが、両神父とも学的採集をも使徒職に奉仕させた。

坂本神父のホリスティック黙想「生活習慣病と信仰の訓練」
日時: 12月13日(月) 10時~12時 場所: ザビエル教会1Fホール 受講料: 500円

(出典)「大島代官記」「植物及動物」「宣教師・植物学者フェーリー神父」「鹿兒島県史」